

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	下水道維持管理事業	所管	下水道部 下水道維持課
			TEL 2998-9211

事業の目的 (何の為に 行うか)	下水道は重要なライフラインであり、市民に安全で快適な生活を確保するため適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させるとともに継続的に利用できる環境を整える。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	公共下水道	対象とした数	1,135,585	m
		実際に 利用した数	1,135,585	m

活動の内容	(何を したか)	①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐため下水道管渠清掃をおこなう。 ②老朽化している施設の耐震性の見直し及び、蓋、管の更新。 ③下水道起因による臭気対策として、防臭リング及び臭気トラップの設置。 ④不明管・侵入水等のテレビカメラを使用した原因調査。 ⑤降雨災害防止のための対策及び巡視。							
	活動実績	項目名	下水管の清掃	34752	項目名	マンホール蓋取替工	569	項目名	臭気対策
			単位 m			単位 個			単位 箇所

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	175,377	161,675	433,349	1,278.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	改善要望対応件数	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水管の詰まり、臭気、溢れ。(目標値→要望総数、実績→完了総数)	99	99	100.0
			単位 件	単位 件	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり		増額	減額	終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	080300	TEL	2998-9211
事業コード	下水道維持管理事業					
080303	下水道部 下水道維持課					
開始年度		昭和 33 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		管渠維持担当				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針				下水道法				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	6節 下水道	中柱	2 維持管理の充実	小柱	(1)下水道管渠の管理の充実
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19 〇 H20 〇		H19 〇 H20 〇				
事業開始の背景	昭和32年に公共下水道施設の建設を開始したことにより、翌、昭和33年より下水道維持管理事業に着手した。								

③事業の内容	目的(何のために行か、具体的に)	下水道は重要なライフラインであり、市民に安全で快適な生活を確保するため適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させるとともに継続的に利用できる環境を整える。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)	公共下水道			利用数の考え方	公共下水道の管渠延長					
	対象数	単位	平成 18 年度	1,094,599	m	平成 18 年度	1,094,599	m	平成 19 年度	1,135,585	m
	事業の具体的な内容及び実施方法		①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐため下水道管渠清掃をおこなう。 ②老朽化している施設の耐震性の見直し及び、蓋、管の更新。 ③下水道起因による臭気対策として、防臭リング及び臭気トラップの設置。 ④不明管・侵入水等のテレビカメラを使用した原因調査。 ⑤降雨災害防止のための対策及び巡視。								
	事業の概要	H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 38 位									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
平成19年度中に改善した点			
油脂の堆積しやすいところは定期的に巡回又は清掃し、流下能力の低下及び完全閉塞を未然に防いだ。また、他の道路工事に老朽化したマンホール蓋があるときは、舗装復旧前に取替工事をを行い、舗装に係るコストを削減した。			

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		162,597	175,377	198,808
	決 算 (見込み含む)		148,717	161,675	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費		27.02 人 248,584	28.92 人 271,674	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				
	事業費合計		397,301	433,349	
	財源内訳	一般財源	397,301	417,349	191,808
	国・県支出金			16,000	3,500
	市債				3,500
市民一人当たり(単位:円)		1,175.9	1,278.1		
利用数一単位あたり(単位:円)		363.0	381.6		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	下水管の清掃	1年間に清掃した管渠延長	m	37,737	34,752	
	マンホール蓋取替工	1年間に取替えたマンホール蓋	個	640	569		
	臭気対策	1年間における臭気対策箇所	箇所	16	8		
	成果分析	改善要望対応件数	件	目標値	90	99	
			実績	89	99	実績値の拡大を図る1	実績値の縮小を図る2
			% 達成率	98.9	100.0		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 + 請負事業 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	下水道管路施設の老朽化。		
	今期目標項目(何を)	工事、修繕箇所を的確に把握する。	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成20年度における目標設定	下水道耐震対策事業委託の執行。	委託事業の計画表を作成し、適正に管理し完了させる。	年度当初に作成	年度末までに完了
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	処理区域の拡大と、既設管等の老朽化に伴い、更なる下水道維持管理事業の必要性が増大する。維持管理の効率化とコスト削減に努めながら事業の継続が必要になる。			
評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	下水道維持課主幹 粕谷 俊三	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位... 4 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
優先度評価	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	下水道は市民生活に直結したライフラインであり、引き続き効果的・効率的な維持管理に取り組みたい。なお、多くの管が延命化を必要としている現状を踏まえ、予定される新管理システムを活用し、布設替え等の優先順位を盛り込んだ延命化等計画に取り組みべきである。					
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 有り	計画コード	121
	施策の体系	1-2水質汚濁の防止	施策の方向	1-2-1生活排水・下水道整備等の浄化対策の推進
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				